

川越市政だより

No.100 月1回日10発行一冊4円 (昭和32年6月10日) 発行所 埼玉県川越市役所 (第三種郵便物認可)

今月の市報

主な目次

新年度の市長施政方針 1頁

公明選挙 1頁

市政便り100号記念座談会 2頁

監査委員報告 3頁

防火入選作文 4頁

手帳
市の
4月

四月(うづき) 卯花月、うづきはなづきといひます。この月は、環境衛生強調月間です。カトハエのいな、よい環境にして健康で明るい生活設計を

広報こよみ 4月

10日 皇太子御結婚式 婦人過問

11日 メートル法公布記念式

21日 道路修繕月間

29日 天皇誕生日

30日 固定資産税、国民健康保険 納期限

5月

1日 メーデー

3日 憲法記念日

5日 こどもの日

8日 世界赤十字デー

10日 母の日、鯉魚遊園

祝祭日には国旗を掲げましょう

新年度の市長施政方針

昭和34年度の予算市議会が3月11日から開かれ8億5千万余円の予算案を提出し、18日原案どおり可決されました。伊藤市長は予算編成の大綱および市政方針を次のように説明いたしました。(写真は伊藤市長)



総額は八億五千余万円

新市建設の実施計画に合せ

私市長就任以来四年間振り返って見ますと短くもめでたきものでありましたが無事その職責を果たしていただくことができました。昭和三十三年市村合併後編成されたことは、ひとえに議員ならびに市民の皆さまの協力のおかげと深く感謝申し上げます。

昭和三十四年度予算の編成は市長として今期最後の当初予算ですが、前任以来市の財政をかえりみて誠に感懐深いものがあります。昭和三十三年市村合併後編成されたことは、ひとえに議員ならびに市民の皆さまの協力のおかげと深く感謝申し上げます。

昭和三十四年度予算の編成は市長として今期最後の当初予算ですが、前任以来市の財政をかえりみて誠に感懐深いものがあります。昭和三十三年市村合併後編成されたことは、ひとえに議員ならびに市民の皆さまの協力のおかげと深く感謝申し上げます。

新年度予算編成の方針

一、努めて新市建設計画の実施計画を昭和三十四年度計画に一回り予算計上に不十分の点があり、またこれを克服したいと思っております。

二、現在私が置かれている政治的立場を考慮し努めて内輪な予算を編成した。

三、投資的経費については特に起債補助金に因りては、起債の当回事業の急を要するもの消費的経費は極力新規のものを抑え、新加算のものは次の市議会に計上する方針としたこと。

以上今回の予算は多分に性格予算の性格を帯びたものとして差支えないものと思っております。

なお商工業振興、農村振興に因りては、教育経費の増額、特に市勢振興に係る経費をもちた

祝皇太子御成婚



写真は新年度予算を説明する伊藤市長

予算総額 8億5千万円 市税総額 2億7千万円

一般会計	515,482,700円	市民税	70,405,000円
特別会計	343,620,399円	固定資産税	131,746,000円
公益質屋	5,959,000円	感自動車税	3,067,000円
国民健康保険	65,267,499円	市たばこ	25,371,000円
競輪事業	217,931,000円	酒税	24,544,000円
上水道事業	40,082,100円	電気ガス税	15,178,000円
授産事業	9,531,600円	都市計画税	412,000円
屠宰場	1,526,600円	旧法による税	
市有財産	3,322,600円		

経費による主なこと

市役所では事務機械化の一環として、会計機一台二百六十万円を購入し、徴税合書の計算印刷、簿記引当の計算等、事務能率の増進を図ることとし、なお広報専用車を購入し、市政の周知広報を行う予定であります。

消防機 ポンプ自動車一台
可搬式動力ポンプ 二台
四十五立方メートル水櫃八槽
土木費 は次の道路舗装を計上
三番町 西町踏切 食糧事務所
川越一所沢線 旧市より分
都市計画税では

菅原町一市駅線を予定し道路新設改良では霞ヶ関の場内仮橋に至る道路大東原倉内二級国道取付工事教育費 第四小学校、高階中学校特別教室、仮称第六小学校、商業高校、古谷小学校改築、図書館書庫拡張等。

公営住宅四十戸
保衛衛生費 消防用自動車一台
し尿処理機土地購入費七百万円
下水道工事、同拡張工事調査費
産業経済費 かん書対策用として
さく井機一台水濁探査機一台
運搬用三輪車一台

公明選挙

4月23日(木) 県議会議員選挙投票日
4月30日(木) 市議会議員選挙投票日
午前七時から午後六時まで

キケンにはキケン
選挙は私たちが私たちの代表を選挙することから、自分自身の考えにのっとり自由な選挙というものが大切で、「あの人に頼りがあるから」というようなことで、候補者の人格や良識をみきわめず投票することは大変キケンなことです。また投票当日「忙しかから」「選挙なんか」といってキケンすることも、これまたキケンなことです。

それは、そのような行為の結果が自分たちの生活にはおぼつかうからです。有能な人を選挙のとき選んでおけば、その人たちによって生み出される良い政治により私たちの毎日の生活は潤われます。

選挙の注意

4月24日(金) 県議会議員選挙開票日
5月1日(金) 市議会議員選挙開票日
午前七時から
才一開票所 川越市役所内
才二開票所 県立川越高校内

選挙の注意

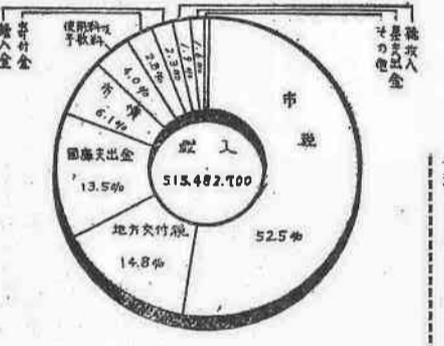
① 投票所に入場した時、受付係に入場券を提出し到着番号の記入を受けよう。

② 次に到着番号の記入を受けた入場券を名簿対照所に提示して選挙券を受けよう。

③ 投票券は一人一人の氏名を記入し、投票箱に入れて下さい。(記帳所には候補者の氏名の一覧表があります)

④ 次に投票用紙を受け取り、二人以上の名を記入したり、無効になりますから、投票用紙には、必ず候補者一人の氏名をのびのび書いて下さい。

昭和34年度 一般会計才入才出予算



市政クイズ

ヒント
ぼくは市役所勤務でつづられ、毎月十日にあなたのお宅を訪ねる「川越市政だより」です。

質問
月日のつづは早いものです。昭和□□年□月初旬をあけたばかりの□□号をかきとるようになりました。□□も□□も幾つ月、みなさんの手の中で□□の視線を浴びたこと、□□行きたって途方にくれたこと等々いろいろなことを□□しましたが、うれいにつけ悲しいにつけ、みなさんの変わらぬ□□はいつも身に感じていました。ほくもこの期待にそよよ□□努力してきました。今□□号を迎えて生れ変わった□□でみなさんの隣に□□込んで行きたい□□を新たにしています。

賞品
正解の五名の方に二百円相当の賞品をお贈りします。(正解者が多いときは抽せんにより、また正解者が少ないときは正解に近い方から順にお贈りします。)

応募規定
1 周囲の全部を書き口の中に当用漢字を入れて下さい。
2 応募用紙は官製ハガキとし、住所、氏名、年令を忘れず書いて下さい。
3 締切 四月二十五日
4 あて先 市役所総務課市政クイズ係
5 正解文は五月月号の本紙に発表
6 市の職員とその家族、市外居住者は応募できません。
7 正解文は作者の原文と一致したもの。

前回の正解文
どうせ足りないなら貯蓄してむだだというのががが家の大人たちの考えです。そんな中で小学生のタ一坊だけが十四玉貯蓄に余念がありません。それが時々めざましい効力を発揮してみんなをおどろかすから愉快です。自転車も電気もあつてはテレビまでも十四玉の集積のだからタ一坊の自慢も無理かぬことです。

当選者
応募総数は五三三通に達し厳正な審査の結果次の方々が当選者になりました。(敬称略)
下赤坂 小野孝、相生町 栗原勇、大中原 長嶋歌子、今成町 栗原保夫、新宿町 椎橋壽市、小仙波町 井上家子、相生町 内田賢一、笠幡若老園内 神田幸江、新宿町 小林あさ子、喜多町 森田修一

4月26日(土) 県議会議員選挙選挙委員会
午前十時から川越市役所内
5月2日(土) 市議会議員選挙選挙委員会
午前九時から川越市役所内

